

## 節電

白沢中学校 一年 吉澤 佳汰

ぼくは、テレビなどで節電要請などのニュースを見ることがあります。そのときになぜ節電が必要なのか調べました。その結果、温暖化防止や資源の節約につながる行動だと分かりました。これをふまえて、ぼくが夏休みに行った節電方法について紹介します。

一つ目は、エアコンの使用についてです。ぼくの家は窓が多いので日中はなるべくエアコンを使わずに家のほぼすべての窓を開けて過ごしました。エアコンを使わなくても風通しがよく快適に過ごせました。また、ねるときのエアコンの設定温度を二十六度と高めの設定しました。エアコンを上手に使い、節電ができたと思います。

二つ目は、冷蔵庫を開けっぱなしにしないようにこころがけたことです。ぼくはよく、冷蔵庫を開けたままにしてお母さんに注意されることがあったので調べてみたところ、冷

蔵庫を開けたままにしたときに冷蔵庫の中の温度が上がれば、コンプレッサーを動かして冷やそうとするため余計な電気を使うことから、電気代が上がってしまうことが分かりました。これよりぼくは、冷蔵庫を開けたらすぐに用を済ませ、すぐにしめることをこころがけました。

三つ目は、テレビの使用についてです。ぼくはいつも、テレビを見ていないのにつけっぱなしにしてしまうくせがあるので、夏休み中は意識して、テレビを見ていないときは消すことをこころがけて節電に協力しました。

この夏休みの期間に実施した節電方法が少しでも地球温暖化防止にこうけんし、未来のぼくたちの生活がより豊かになればいいなと思います。今回やったことは、夏休みだけで終わらせずにこれからも続けていきたいです。